

平成27年度 第1回学校関係者評価委員会の報告

- 1 日 時 平成27年6月23日(火) 10:30~12:00
- 2 場 所 加世田高等学校 応接室
- 3 出席者 地域：加世田高校PTA会長，加世田中学校長，金峰中学校長
大笠中学校長，加世田中学校PTA会長
学校：校長，教頭，事務長，教務主任，生徒指導主任，進路指導主任，保健主任

4 質疑応答

<教育活動全般，生徒募集等について>

- 委員 中学校において、加世田高校への入学を希望しているが、成績面で不安を抱えている生徒がいる。加世田高校でのサポート体制について伺いたい。
→ 成績面での二極化、多層化に対してこれまでの少人数授業や習熟度別授業の他に、進学指導支援事業重点校として基礎講座をつくって対応していく。
- 委員 自転車通学生がスピードの出し過ぎ（特に学校坂下）について小中学生や近隣の方々など、危ない場面があるので注意するようご指摘いただいた。
→ 交通指導係を中心に、単車通学生も含めて安全指導のさらなる徹底に努めていきたい。
- 委員 進学や学習に対するストレスの解消のために導入しているリラクゼーションについて伺いたい。
→ ストレスマネジメントとして、外部講師を招き実施していただいている。また、「あふちタイム」として、昼食時間の最後の10分間を午睡時間として取り組んでいる。
- 委員 「あふちタイム」については生徒会や放送部など生徒を中心に取り組むとさらに定着するのではとアドバイスをいただいた。
- 委員 県内または全国における学力の把握のために実施している模試について伺いたい。
→ 1，2年生は年3回全国模試を実施している。3年生についてはさらに、センター対策としてのマーク模試や大学別模試等も数回加わる。
- 委員 浪人生の結果について伺いたい。
→ ほとんどすべての生徒が現役時よりもレベルアップして合格している。
- 委員 川辺高校とのスポーツ交歓会ついでの様子について伺いたい。
→ 出場した競技の選手も応援した生徒も予想以上に盛り上がり大成功だった。新入生も含め学校全体に一体感や愛校心が芽生えたと感じる。
- 委員 とても良い行事なので、来年度も是非、実施して欲しいとご意見をいただいた。
- 委員 スクールバスの運行について伺いたい。
→ 今年度から大浦・笠沙地区より新たなコースを設定し順調に運行している。学校の中まで乗って来られるので雨の日も濡れることなく安心して登下校できると好評である。
- 委員 う歯の治療率向上について、予防も含めた対策やPTA新聞の活用なども有効ではないかとのアドバイスをいただいた。
- 委員 生徒募集については、少子化の中ではあるが、文武両道でよく取り組んでいる本校の現状をもっとアピールして欲しいとの要望があった。

<平成26年度学校評価アンケート結果について>

- 委員 昨年度の学校評価の結果について、特に職員による評価についてはほとんど割的に少ない「C」や「D」に注目するのではなく、「A」の割合の少ない項目について注目した方が課題等もよく見えてくるのではないか。
「A・B・C」の3段階でもよいのではないかとのアドバイスをいただいた。